

平成二十八年度 卒業式 祝辞

高知県高等学校PTA連合会を代表しまして一言、お祝いを申し上げます。

高校生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

また、保護者の皆様に置かれましては、お子様が立派に成長され、今日の日を迎えられたことに対しまして、心からお祝い申し上げます。

そして、校長先生はじめ先生方におかれましては、生徒たちに温かくときに厳しく指導をして頂き心より感謝申し上げます。



卒業生の皆さん高校生活の3年間はどうか。勉学はもちろん部活動や日々の生活を有意義に過ごせましたか。修学旅行や文化祭、体育祭などは当日まで友達と色々な意見を交わし、部活動に行くことや自宅に帰ることを惜しみ、遅くまで打ち合わせをした事と思われまふ。その中で積み重ねたことが今の皆さんの友情を創っていったのです。

本年度は、選挙権の18歳引き下げによる参議院選挙がありました。高知県は徳島県との合区により高知県の候補者がいない事で大変戸惑いが有ったのではないかと思います、ご両親とその中で色々な会話が有り「選挙権の一票の重み」とか「投票に行く事の意義とは何か」を解って頂ければと思います。

「今の旅立ちは出会いへの旅立ちだ」今日卒業する事で、あなた方は今後色々な事や人と出会うでしょう。またこの先、人生の壁にあたることも有ると思います。

その時には学校で学んだ事を活かし、壁を乗り越えて頂きたいです。人間という動物は一人では生きてはいけません。人間は「人の間」と書きます。人と人の間に生きて、人と人の間で成長していくことだと私は思います。

卒業生の皆様、周りを見渡してください。あなた方を必ず見ている方がいます。保護者の皆様はもちろん恩師の先生方や友達が、もしあなた方に何か有ったときは、快く相談にのってくれるでしょう。時には後ろを振り返る事も良いでしょう。本校で学んだ事柄に自信と誇りを持って力強く一步一步、前進して行ってください。

あらためて卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今まで皆さんに関わって下さった多くの方々に感謝の気持ちを忘れず、己れを信じ、自分を愛し歩んで下さい。皆さんのご健勝と今後の活躍を心よりお祈り申し上げ、祝辞とさせていただきます。

平成二十九年三月一日
高知県高等学校PTA連合会
会長 川北 恭弘